

# 案 1 (東京都 技術実績評価型を参考)

## 価格点算定方法の説明

価格点 = (式①×0.13 + 式②×0.87)

式① (上限は150点とする。)

$$150 \times \left[ \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{最低入札価格}} + \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right] \times \frac{1}{2}$$

- 最低入札価格について以下の式によって算定する基準値 (A) を下回る場合は、基準値 (A) とする。  
 基準値 (A) = 直接工事費×75% + 共通仮設費×70% + 現場管理費×70% + 一般管理費等×30% + 発生材売却費等
- 最低入札価格と予定価格が同額の場合は、式①の値は150点とする。

式② (上限は150点とする。)

$$150 \times \left[ \frac{\text{予定価格} - \text{入札価格}}{\text{予定価格} - \text{基準値 (B)}} + \frac{\text{基準値 (B)}}{\text{入札価格}} \right] \times \frac{1}{2}$$

- 基準値 (B) は予定価格の10分の7から10分の9までの範囲内において以下の式によって定める。  
 基準値 (B) = 直接工事費×97% + 共通仮設費×90% + 現場管理費×90% + 一般管理費等×55% + 発生材売却費等

### 【特徴】

- 基準値 (B) を下回ると加点率が抑制される。(式②が満点の150点になるため。)
- 基準値 (A) を下回ると満点の150点でそれ以上は加点されない。(式①、②いずれも満点の150点になるため。)
- 入札価格が予定価格近傍に集中すると、一定の金額差あたりの価格点の差は大きくなる。
- 予定価格と同額でも67点程度 (最低入札価格と基準値 (B) による) の点数がつき、基準値 (B) の価格で満点の150点に近い点数がつくため、実質的な競争は67点~150点の間となる。

以下のシミュレーションでは、式①の基準値 (A) = 72.5%、式②の基準値 (B) = 90%とする。

シミュレーション	最低入札価格	入札価格に応じた価格点												1%あたりの価格点差				
		100%	97.5%	95%	92.5%	90%	87.5%	85%	82.5%	80%	77.5%	75%	72.5%	70%	100%~90%の平均	90%~72.5%の平均		
1	97.5%	68.23	96.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.12	-
2	95%	67.98	90.91	113.94	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.19	-
3	90%	67.50	87.98	108.55	129.22	150.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.25	-
4	80%	66.52	85.76	105.08	124.51	144.04	145.50	146.98	148.48	150.00	-	-	-	-	-	-	7.75	0.59
5	70%	65.79	84.67	103.65	122.72	141.89	143.01	144.13	145.27	146.42	147.59	148.78	150.00	150.00	-	-	7.61	0.46

1点あたりの価格

- 【最低入札価格が97.5%の場合】 10.8億円 ÷ 28点 = **3,860万円**
- 【最低入札価格が95%の場合】 21.6億円 ÷ 46点 = **4,700万円**
- 【最低入札価格が90%の場合】 43.2億円 ÷ 83点 = **5,200万円**
- 【最低入札価格が80%の場合 (100%~90%)】 43.2億円 ÷ 77点 = **5,610万円**
- 【最低入札価格が70%の場合 (100%~90%)】 43.2億円 ÷ 76点 = **5,690万円**

### 【最低入札価格が90%の場合の計算例】

およそ67点~150点の83点を100%~90%の10%で競うことになる。  
 432億円 × 10% = 43.2億円  
 1点あたりの価格は  
 43.2億円 ÷ 83点 = **5,200万円** となる。

